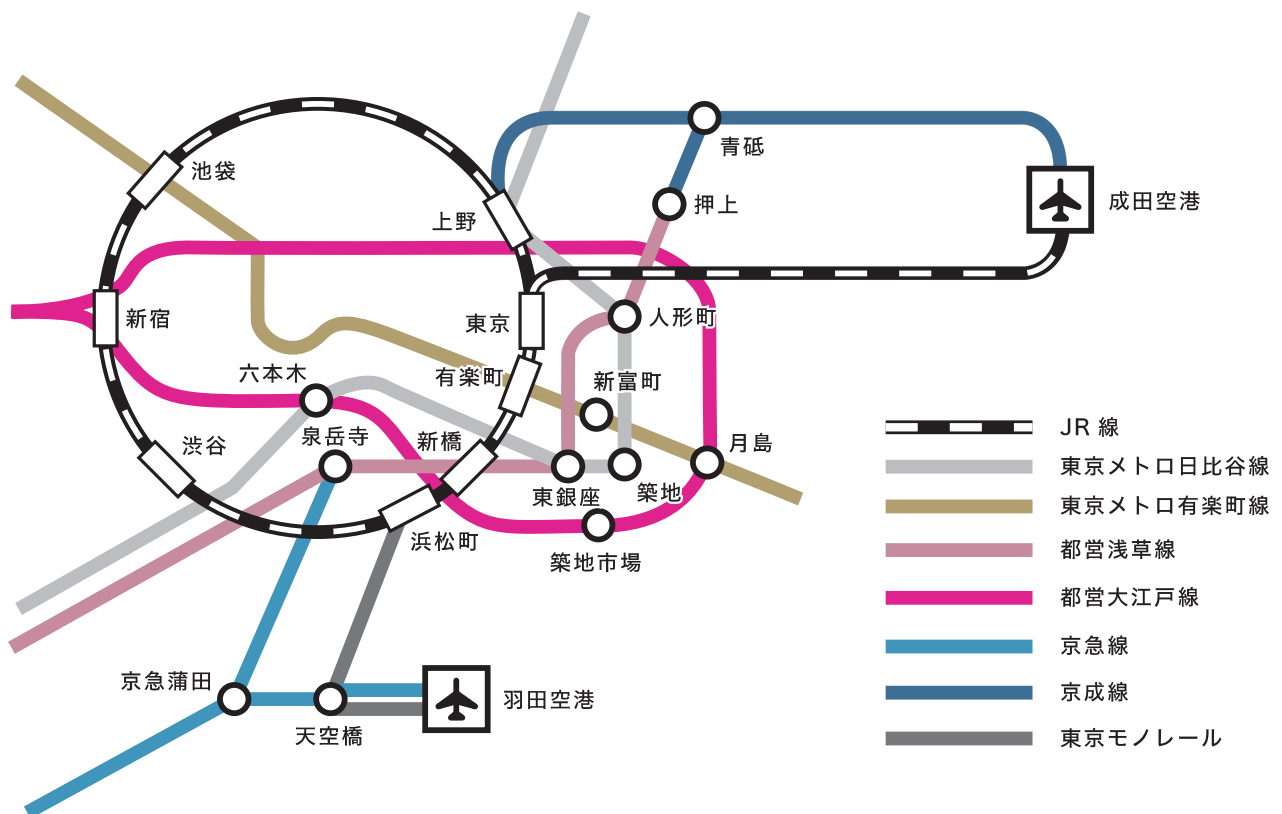


会場付近図・交通案内図

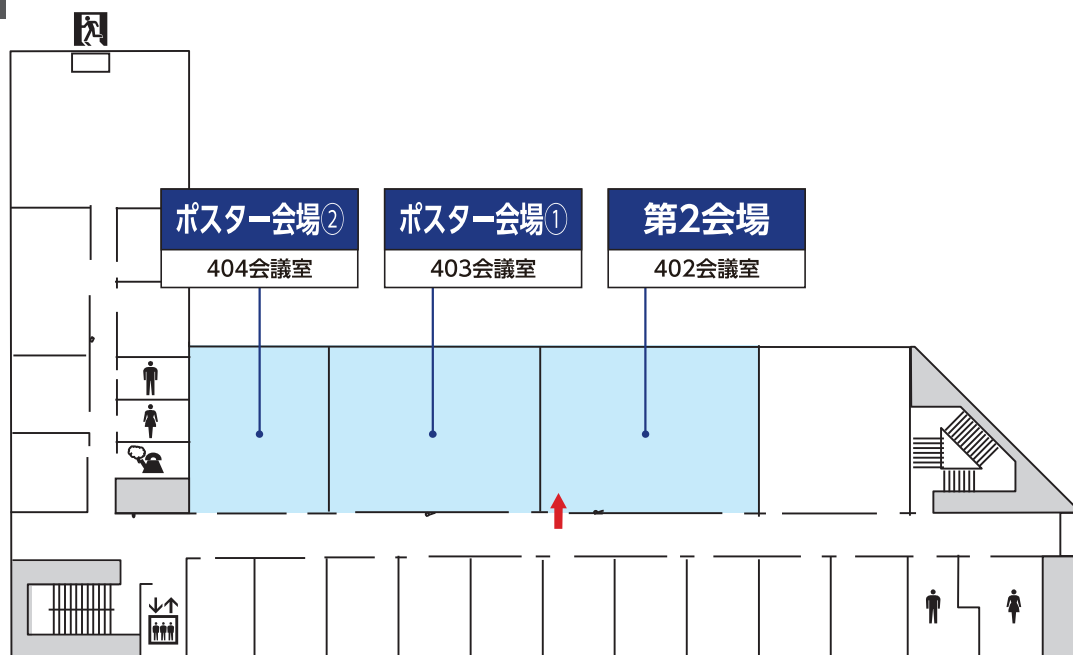


会場のご案内

1F



4F



参加者へのご案内

現地開催：2025年5月24日(土)～25日(日)

オンデマンド配信期間：2025年6月6日(金)～7月7日(月)

※現地開催された学会プログラムの一部をオンデマンド配信いたします。

1. 参加受付

場所：聖路加アリスホール1F ホールロビー

日時：5月24日(土)8:30～18:30

5月25日(日)8:30～16:30

2. 参加費

1) 参加登録について

本学術集会の参加に参加登録が必須となります。

本学術集会webサイト(<https://square.umin.ac.jp/ayaken-cong7/registration.html>)より参加登録が可能です。

期間：2025年3月7日(金)～7月8日(火)まで(オンデマンド配信終了日まで)

区分	早期登録参加費(※1)	通常登録参加費(※2)	税区分
会員	¥ 8,000	¥10,000	不課税
非会員	¥12,000	¥14,000	課税 消費税 10% 込
学生(※3)	¥ 1,000	¥ 3,000	
AYAがん支援プログラム(※4)	¥ 1,000	¥ 1,000 (5月23日(金)締切)	
懇親会(※5)	¥ 1,000	¥ 1,000	

お支払いいただいた参加登録費の返金、および参加カテゴリーの変更はお受けいたしませんので、登録の際は十分にご注意ください。

会期中は2日間、昼食弁当を用意しておりますが、配布は先着順となります。数に限りがありますので行き渡らない場合はご容赦願います。

※1 2025年4月24日(木)18:00までの参加登録

※2 2025年4月24日(木)18:00以降の参加登録

※3 学生証を撮影した写真データを参加登録画面よりアップロードしてください。

※4 AYAがんの患者さん・ご家族の支援に関わる個人
(医師・看護師その他のメディカルスタッフを除く)

「AYAがん支援プログラム」の詳細についてはホームページをご覧ください。

※5 懇親会は事前登録制(定員70名)とさせていただきます。

2) 学会参加証明書について

【現地参加の方】

学会参加証明書は、現地参加の方には現地にて受付の際にお渡しします。

【オンデマンド配信のみ参加の方】

オンデマンド配信終了後にご登録いただいたメールアドレス宛に参加証のPDFを添付にてご送付いたします。

3) 会期中の参加登録について

現地開催会期中の参加登録も、学術集会ホームページからオンラインでお願いいたします。

※当日会場窓口での支払いはできません。

3. 抄録集

抄録集は今回冊子の配布はございません。

本学術集会webサイトより閲覧いただけます。

パスワード：ayacong7

4. 場内でのお願い

1) 講演会場内では、携帯電話をマナーモードに設定してください。聴講中のパソコンの使用は明かりや打音により周りの方のご迷惑となりますので、ご配慮いただきますようお願いいたします。

2) 会長の許可の無い掲示・展示・印刷物の配布・録音・写真撮影・ビデオ撮影は固くお断りいたします。

5. 第2回研究助成対象者研究報告会 5月25日(日) 13:15～14:15

会 場：聖路加アリスホール

6. 懇親会／最優秀演題表彰式 5月24日(土) 18:30～20:30

会 場：大村進・美枝子記念 聖路加臨床学術センター 1F 会議室2・3

参加費：1,000円(オンライン参加登録の際に一緒にお申し込みください)

定 員：70名

※飲み物・軽食を準備いたします。

7. 市民公開講座 5月23日(金) 19:00～21:00

会 場：Web視聴LIVE配信

参加方法：本学術集会Webサイト「市民公開講座」ページよりお申し込みください。

協 賛：アフラック生命保険株式会社

8. 企業展示

場 所：アリスホール1階ホワイエ

開設時間：5月24日(土) 9:00～17:00

5月25日(日) 9:00～15:00

9. プログラム所属表記について

統一表記で記載をしておりますことをご了承ください。

10. 撮影・録音について

講演会場内での撮影・録音は、学会側が認めた場合以外、禁止となります。また、肖像権保護のため、講演会場以外でも許可なき撮影・録音はご遠慮ください。

Web視聴ページ内の写真、スライド、映像、音声の著作権は、著作者、団体に帰属します。画面の録画、静止画記録、録音での保存や転載は固く禁止いたします。ご協力いただきますようお願いいたします。

11. 託児について

会場スペースの都合上、今回設置はございません。予めご了承ください。

12. Wi-Fiについて

Wi-Fiについては、当日会場内の掲示にてご案内いたします。

13. お問い合わせ先

〈運営事務局〉

第7回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会 運営事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402

株式会社MA コンベンションコンサルティング

TEL：03-5275-1191 / E-mail：ayaken-cong.7@macc.jp

座長、演者へのご案内

1. 座長の方へ

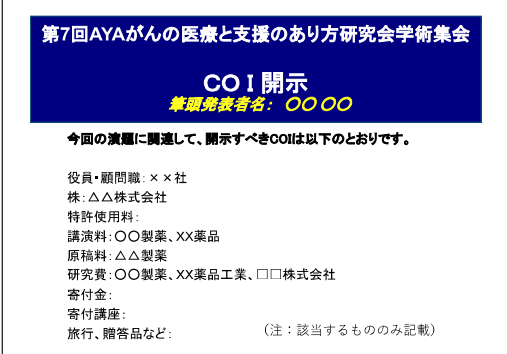
- 1) 座長受付はございません。担当セッション開始予定の15分前までに、会場右前方の「次座長席」にご着席ください。
- 2) 進行は座長に一任しますので、演者の発表時間を管理し、質疑応答、総合討論を含めて時間内に終了するようにご配慮、ご協力をお願いいたします。

2. 演者の方へ

■発表演題に関する利益相反 (COIの開示について)

本研究会の「利益相反マネジメントに関する指針」(https://aya-ken.jp/about_aya-ken/coi) に則って、利益相反の申告にご協力ください。利益相反の有無にかかわらず、利益相反の開示をお願いいたします。口演発表の場合はスライドの2枚目に、ポスター発表の場合はポスターの最初または最後に掲示をお願いいたします。

COI開示例

	
--	---

■口演発表

- ・PCプレゼンテーションに限ります。
- ・演者はセッションの30分前までに発表データの受付を済ませ、発表の10分前までに次演者席にご着席ください。
- ・演台にモニター、マウス、キーボードを用意いたしますので、演者自身の操作で進めてください。
- ・発表時間の終了1分前に黄ランプ、終了は赤ランプでお知らせいたします。
- ・講演時間

指定演題	事前にご案内いたします。各座長の指示に従ってください。 プログラムの時間通りの進行にご協力ください。
------	---

■口演発表データ作成方法

- ・発表形式はPC 発表です。
- ・発表データは、16:9、4:3、いずれのサイズでも可能です。
- ・会場へは、USB メモリ、パソコン本体のいずれかの形で発表データをお持ち込みください。
- ・講演開始30分前までにPC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。
PC 持ち込みの方も、30分前までにPC 受付へお越しください。
- ・パワーポイントの「発表者ツール」機能は使用できません。発表原稿が必要な方は予めプリントアウトをお持ちください。
- ・PC 受付のパソコンは台数が限られております。受付パソコンを独占しての長時間データ修正はご遠慮

ください。学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正等は事前に済ませてからPC 受付へお越しください。

- ・お預かりした発表データは、学会終了後、事務局で責任をもって完全消去いたします。

〈USB メモリをお持ち込みの方への注意事項〉

- ・会場設置 PC の OS、アプリケーションは以下のとおりです。

OS：Windows 10

アプリケーション：Windows 版 PowerPoint

※Mac OSやWindows版PowerPoint 2010以前のPowerPoint、上記以外の環境での発表を希望される場合はご自身の PC をお持ち込みください。Windows PCの持ち込みも可能です。

※動画や音声を含む場合は、ご自身のPC をお持ち込みください。

- ・持込可能なメディアは USB メモリのみとなります。
- ・事前にウイルスに感染していないことを確認してください。
- ・文字化けやレイアウトの崩れを防ぐために OS に設定されている標準フォントをご使用ください。
- ・データの総量制限は特に設けません。決められた発表時間内に発表が終了するようにデータを作成してください。
- ・演台上のマウスと操作キーをご自身で操作して発表を行ってください。
(発表者ツールはご使用いただけません。)

〈PC 持ち込みの場合 (Windows、Mac とも可能)〉

- ・外部出力が可能であることを必ず事前にご確認ください。
- ・会場に用意するケーブルコネクタの形状は、HDMI コネクタです。この形状に変換するアダプタを必要とする場合は、必ずご持参ください。また、AC アダプタを必ずご用意ください。
- ・発表中にスクリーンセーバーや省電力機能が作動しないようにしてください。
- ・スリープからの復帰時、起動時のパスワードは解除しておいてください。
- ・バックアップ用データとして、USB メモリを必ずご持参ください。
- ・持ち込みの PC は、PC データ受付にて接続テスト後、発表する会場にてお預かりし、発表後にご返却いたします。引き取り忘れないように、ご注意ください。

■発表データ受付 (PC 受付) について

1. 受付時間

5月24日(土) 8:30～17:00

5月25日(日) 8:30～16:00

2. 場所

●第1会場 (アリスホール) にて実施するセッション

第1会場内、左手最前方のオペレーター卓

●第2会場 (4F 402会議室) にて実施するセッション

第2会場内、左手最前方のオペレーター卓

PC受付はできるだけ幕間をお願いいたします。

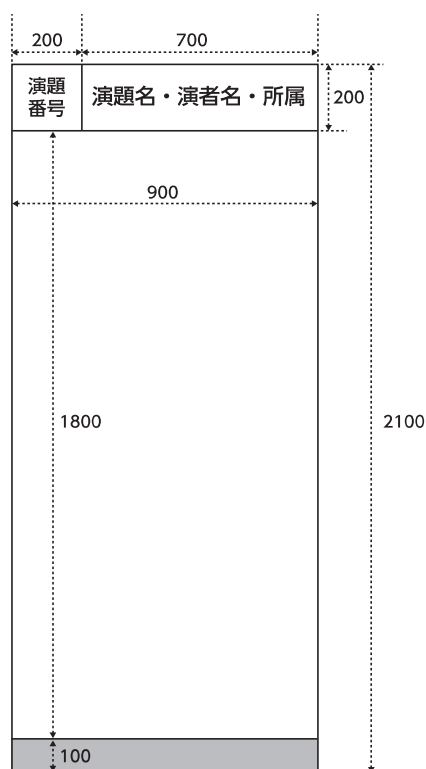
■ポスター発表について(会期後のオンデマンド配信は行いません)

- ・ポスター受付はございません。
- ・下記の掲示時間内にプログラムに掲載されている演題番号の指定パネルに掲示してください。
※会場へのポスター直送、事務局受取はできません。会場施設への直接のお問い合わせもご遠慮ください。
- ・発表者は討論開始時刻10分前に、演者用リボンをつけてポスターパネルの前に待機してください。
- ・優秀演題候補の方は赤色、一般発表の皆様は水色となります。
- ・各演題発表時間は発表6分、質疑3分です。
- ・ポスター掲示、発表、撤去時間は以下の通りです。

掲示	5月24日(土) 10:00～13:00
発表	5月24日(土) 17:15～18:15
撤去	5月25日(日) 15:00まで

※上記以外の時間は閲覧時間とします

- ・ポスター掲示版の大きさは、横90cm×高さ210cmです。



- ・演題名・氏名・所属は縦20cm×横70cmでご準備いただくか、ポスターライドデータ内に記載してください。演題番号は事務局で用意します。
- ・ポスターは、AOで印刷しなくてもかまいません。ボード1枚に収まるのであれば、印刷サイズはお任せいたします。
- ・貼付には、備え付けの画びょうをご利用ください。
- ・時間内に撤去されないポスターは処分します。
処分ご希望の方も必ずポスターをパネルから外し、付近の床にまとめておいてください。
※ポスターケースは処分できません、必ずお持ち帰りください。

プログラム

日程表

1日目 5月24日(土)			
第1会場	第2会場	ポスター会場	展示会場
1F	4F	4F	1F
アリスホール	402	403/404	ロビー
8:50~9:00 開会あいさつ			
9:00~10:15 シンポジウム1 「C-AYA世代希少がんの臨床試験を活性化するために」 座長：一戸 辰夫、河田 純一 演者：山崎 文之、安藤 弥生、石丸 紗恵、ガテリエ・ローリン、野口 敦			9:00~17:00
10:00~10:30		10:00~17:15	
10:30~11:45 シンポジウム2 「がん罹患経験とともに生きるAYA世代の意思決定」 座長：石田 裕二、小林 真理子 演者：橋本 久美子、大石 春美、山谷 佳子、齋藤 静 共催：アフラック生命保険株式会社	10:30~11:45 Fairy's presents！ わからないことを「わからない！」と言えるがん研究セミナー with AYA 「～AYA世代の胃がん：臨床病理、ゲノムの特徴から考える今後の治療展望と課題～」 進行：櫻井 公恵、小村 悠 演者：中山 徹馬	10:30~16:00	
12:00~13:00 ランチョンセミナー1 「AYA世代のがん治療を支える画像診断 ～CT・MRIをもっと身近に～」 座長：五木田 茶舞 演者：高橋 沙奈江 共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社	12:00~13:00 中継 (昼食会場)		
13:00~13:15			
13:15~14:30 大会企画セッション：AMED社会共創EXPO in AYA研 「医療を超えて、僕たち、私たちの未来をつくるには？ ～テクノロジーで身体を拡張する～」 座長：小村 悠、桜井 なおみ、谷島 雄一郎、坂本 はと恵 演者：武藤 将胤、荻野 幹人、南澤 孝太 共催：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)			
14:00~14:15			
14:45~16:00 スポンサードシンポジウム 「AYA世代がん患者さんの経済毒性・時間毒性と乳癌治療について」 座長：渡邊 知映 演者：本多 和典、平田 宗嗣 共催：中外製薬株式会社	14:45~16:00 シンポジウム4 「AYA世代のこれからを見据えて～AYA世代の就学・就労・キャリア支援～」 座長：櫻井 卓郎、坂本 はと恵 演者：越田 詩織、谷山 智子、中原 さとみ、鈴木 碧		
16:00~16:15			
16:15~17:00 シンポジウム3 共催：一般社団法人PPI JAPAN	「誰のための研究か？ー研究と社会をつなぐ「レイサマリー」という伝え方、患者向け情報提供の意義と実践ー」 モデレーター：八木 伸高 演者：八木 伸高、鈴木 和幸、小村 悠 パネリスト：小村 悠、鈴木 和幸		
17:00~17:15			
前日：5月23日(金)			
19:00~21:00 市民公開講座 「AYAがん患者の”生きる”を支える”ケアを紡いで”をみて」 共催：アフラック生命保険株式会社 ※ライブ配信のみ		17:15~18:15 ポスターツアー	
18:00~18:15			
18:30~20:30			
懇親会(ネットワーキング) 大村進・美枝子記念 聖路加臨床学術センター 1F 会議室2・3			
19:00~19:15			

日程表

2日目 5月25日(日)				
第1会場		第2会場		ポスター会場
1F		4F		4F
アリスホール		402		403/404
				1F
				ロビー
9:00	9:00~10:15	10:15~11:45	国際連携委員会企画 「アジアのAYA (LMICのAYA)」 座長：桜井 なおみ、小澤 美和 演者：Mei-Yoke Chan ※字幕付動画の配信を行います。	9:00~15:00
	シンポジウム5 ▶ 「がんサバイバー晩期合併症フォローアップについて 多職種連携とそのマネジメント～AYA患者の晩期心血管毒性～」 座長：佐瀬 一洋、志賀 太郎 演者：小野 麻紀子、小坂橋 紀通 パネリスト：天野 慎介、近藤 美紀、平出 誠、西 明博、小野 麻紀子、小坂橋 紀通 共催：日本腫瘍循環器学会			
10:00				
11:00	10:30~11:45	12:00~13:00	中継 (昼食会場)	10:30~15:00
	シンポジウム6 ▶ 「みんなで学ぼう！ AYAがんとゲノム医療、遺伝性腫瘍」 座長：浦川 優作、新川 裕美 演者：田村 智英子、緒方 里恵、幅野 愛理			
12:00	12:00~13:00	13:15~14:15	第2回研究助成対象者研究報告会 座長：永井 功造、八巻 知香子 演者：小野 麻紀子、新川 裕美、五木田 茶舞	企業展示
	理事長企画ランチョンセミナー2 [Protocol for the development of a Core Outcome Set(COS) for Adolescents and Young Adults (AYAs) with cancer] 座長：清水 千佳子、東 尚弘 演者：Simone Hanebaum、Silvie Janssen 共催：株式会社明治安田総合研究所			
13:00				
14:00	13:15~14:15	14:30~15:30	調査・研究委員会企画 「AYA研レジストレーション」 座長：向井 幹夫、安藤 弥生 演者：松井 基浩、向井 幹夫	ポスター貼付・閲覧 レモネードスタンド
	理事長企画セッション ▶ 「AYA世代がんの医療経済を考える ～高額療養費制度を題材に～」 座長：清水 千佳子、天野 慎介 演者：伊藤 ゆり、桜井 なおみ、坂本 はと恵 指定発言：河田 純一			
15:00	14:30~15:45	16:00~16:30	国際学会参加助成報告会 座長：富岡 晶子 演者：盛田 大介	
	パネルディスカッション ▶ 「AYA研だから話すよ、「性」のこと」 座長：杉本 公平、森 文子 演者：渡邊 知映、小堀 善友、瀬戸口 志保、 樋口 麻衣子、柿本 聡			
16:00	16:00~16:30	16:30~	閉会式	
17:00				
18:00				
19:00				

プログラム 5月23日(金)

LIVE 配信

市民公開講座

19:00 ~ 21:00

共催：アフラック生命保険株式会社

「AYAがん患者の”生きる”を支える ”ケアを紡いで”をみて」

※ライブ配信です。会場開催はございません。

※当日の配信は事前登録制となっておりますので、HPにある市民公開講座からお申込みください。

プログラム 1日目 5月24日(土)

第1会場

開会あいさつ

8:50 ~ 9:00

シンポジウム1 C-AYA世代希少がんの臨床試験を活性化するために

9:00 ~ 10:15

座長：一戸 辰夫 (広島大学病院 血液内科)
河田 純一 (東京大学医科学研究所 公共政策研究分野)

SY1-1 AYA世代脳腫瘍の臨床試験活性化の課題

山崎 文之
広島大学大学院医系科学研究科 脳神経外科学

SY1-2 希少がんの研究開発基盤の構築～ MASTER KEY project ～

安藤 弥生
国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門

SY1-3 小児がんにおける国際共同臨床試験の課題と展望

石丸 紗恵
Princess Máxima Center for pediatric oncology

SY1-4 C-AYA世代希少がん患者の声とともに臨床試験を考える：日常にある課題と患者会の視点から

ガテリエ・ローリン
NPO法人脳腫瘍ネットワーク

SY1-5 野口 敦

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA)

シンポジウム2 がん罹患経験とともに生きるAYA世代の意思決定

10:30 ~ 11:45

座長：石田 裕二 (静岡県立静岡がんセンター 小児科)
小林真理子 (聖心女子大学 現代教養学部 心理学科)
共催：アフラック生命保険株式会社

SY2-1 AYAサバイバーシップセンターに寄せられる相談の声～聴くということ 待つということ～

橋本久美子
聖路加国際病院 相談支援センター／AYAサバイバーシップセンター

SY2-2 地域と共に考えるコミュニティ緩和ケア・AYA世代

大石 春美

穂波の郷クリニック 緩和ケア支援センターはるか

SY2-3 がん・生殖医療専門心理士としてがん治療後の人生を支える—私のがん治療後の人生の再構築

山谷 佳子

聖マリアンナ医科大学病院 生殖医療センター

SY2-4 平坦な戦場で私たちが生き延びること ～がん罹患後を生きる日々について～

齋藤 静

ランチョンセミナー 1

12:00 ～ 13:00

座長：五木田茶舞 (埼玉県立がんセンター 整形外科／希少がん・サルコーマセンター)

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

AYA世代のがん治療を支える画像診断 ～CT・MRIをもっと身近に～

高橋沙奈江

杏林大学 保健学部 診療放射線技術学科

大会長企画セッション

医療を超えて、僕たち、私たちの未来をつくるには？ ～テクノロジーで身体を拡張する～

13:15 ～ 14:30

座長：小村 悠 (国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門／医薬品開発推進部門 (併任))

桜井なおみ (一般社団法人CSRプロジェクト)

谷島雄一郎 (ダカラコソクリエイト／大阪ガスネットワーク株式会社)

坂本はと恵 (国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 がん相談支援センター)

共催：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

○武藤 将胤¹、荻野 幹人²、南澤 孝太³

¹一般社団法人 WITH ALS、²東京大学大学院 総合文化研究科、³慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

スポンサードシンポジウム

AYA世代がん患者さんの経済毒性・時間毒性と乳癌治療について

14:45 ～ 16:00

※患者枠でご登録の方は、薬機法・広告規制の関係でご参加できませんので、ご了承ください。

座長：渡邊 知映 (昭和医科大学 保健医療学部 看護学科)

共催：中外製薬株式会社

SS-1 AYAがん患者さんの経済毒性・時間毒性

本多 和典

愛知県がんセンター 薬物療法部

SS-2 フェスゴ投与の実際「時間毒性」軽減効果を考える

平田 宗嗣

藤田医科大学 医学部 乳腺外科学講座

シンポジウム3

16:15 ~ 17:00

モデレーター：八木 伸高 (日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医療政策本部 ペイシエントエンゲージメント部/一般社団法人YORIAILab 代表理事)

共催：一般社団法人PPI JAPAN

SY3 誰のための研究か？－研究と社会をつなぐ「レイサマリー」という伝え方、患者向け情報提供の意義と実践－

○八木 伸高^{1,2,3}、鈴木 和幸^{1,4}、小村 悠^{1,5}

¹一般社団法人PPI JAPAN、

²日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医療政策本部 ペイシエントエンゲージメント部、

³一般社団法人YORIAILab、

⁴ノバルティス ファーマ株式会社 開発本部 スタディ・サイトオペレーションズ ポートフォリオ、

⁵国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門/医薬品開発推進部門(併任)

パネリスト：小村 悠

国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門/医薬品開発推進部門

パネリスト：鈴木 和幸

ノバルティス ファーマ株式会社 開発本部 スタディ・サイトオペレーションズ ポートフォリオ

第2会場

Fairy's presents ! わからないことを「わからない！」と言えるがん研究セミナー with AYA ～AYA世代の胃がん：臨床病理、ゲノムの特徴から考える今後の治療展望と課題～

10:30 ~ 11:45

進行：櫻井 公恵 (GIST 患者会 NPO 法人 GISTERS)

小村 悠 (国立がん研究センター東病院 Fairy's)

中山 巖馬

国立がん研究センター東病院 消化管内科

シンポジウム4 AYA世代のこれからを見据えて ～AYA世代の就学・就労・キャリア支援～

14:45 ~ 16:00

座長：櫻井 卓郎 (国立がん研究センター中央病院)

坂本はと恵 (国立がん研究センター東病院)

SY4 越田 詩織

AYA世代小児がん経験者のトランジションと就労における課題

谷山 智子

国立国際医療センター 総合診療科

精神疾患がある人へのIPS援助付き雇用の実践とその普及

中原さとみ

桜ヶ丘記念病院 医療福祉部 地域連携課

鈴木 碧

アリアルジュ株式会社 カスタマーサクセス

ポスター会場① 403

ミニオーラル1 活動報告1

17:15 ~ 18:15

座長：小澤 美和（聖路加国際病院 AYAサバイバーシップセンター）

MO1-1 ワーキンググループから得られた課題に基づくAYA支援チームの立ち上げ

○成川 明子¹、松尾 里香¹、緒方 文子²、浅野あさみ³、高橋 寛行⁴、岸田 健⁵

¹地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 患者支援部 がん相談支援センター、

²地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 患者支援部 医療福祉相談室、

³地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 患者支援部 緩和ケアセンター、

⁴地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科、

⁵地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 患者支援部

MO1-2 千葉AYAがん活動報告

○日野もえ子¹、菱木 知郎²、甲賀かをり³、堺田恵美子⁴、大野 泉⁵、松谷 智郎⁶、富岡 晶子⁷、
渡邊 朋⁸、米本 司⁹

¹千葉大学医学部附属病院小児科、²千葉大学大学院医学研究院 小児外科学、

³千葉大学大学院医学研究院 生殖医学講座、⁴千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学 血液研究室、

⁵千葉大学大学院医学研究院 臨床腫瘍学、⁶千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科学、

⁷千葉大学大学院看護学研究院先端実践看護学研究部門 高度実践看護学講座、⁸千葉大学医学部附属病院看護部、

⁹千葉県がんセンター整形外科

MO1-3 当院におけるAYAサポートチームの発足と多職種連携による支援の変化

○東 万里子、永見 知子、真島 宏太、小田真由美、中溝奈美恵、首藤 直美、東 千代美、
堀田 智津、野田扶美枝、松崎 洋吏、吉永 康熙、四元 房典
福岡大学病院

MO1-4 当院のAYAサポートチーム活動の歩み

○清原 文、櫻井 史子、石井あかね、佐俣 智子、大川 友子、田中 里佳、大野 貴之、
稲塚 萌依、小椋 久実、成澤瑛理子、高他 大輔
独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター

MO1-5 当院のAYA世代患者への介入とその有効性の報告 －AYA支援チームの活動－

○宇佐美友紀子¹、小川 弘美¹、谷山 智子²、曾根 英恵³、荒城葉々子³、千葉みゆき¹、
貫井 祐子³、中山 照雄⁴、伊東みなみ⁴、島貫裕実子⁵、清水千佳子^{2,6}

¹国立国際医療研究センター病院 看護部、²国立国際医療研究センター病院 がん総合医療センター、

³国立国際医療研究センター病院 精神科、⁴国立国際医療研究センター病院 がん相談支援センター、

⁵国立国際医療研究センター病院 薬剤部、⁶国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科

MO1-6 クリニックで行う、AYA世代を迎えた小児がん経験者に対する長期フォローアップ

寺田 和樹

医療法人社団千秋双葉会 いなげ未来クリニック

ミニオーラル2 活動報告2

17:15 ~ 18:15

座長：河田 純一（東京大学医科学研究所 公共政策研究分野）

MO2-1 A病院におけるAYA世代がん患者への支援体制に関する活動報告

○太田 佳男¹、西本 仁美²

¹岡山大学病院 腫瘍センター、²岡山大学病院 看護部

MO2-2 相談の声を患者に届けるために

～「AYA世代がん患者・家族への相談支援マニュアル」作成の活動報告

○橋本久美子¹、立花 夏子¹、前田 邦枝¹、中村 希¹、北野 敦子²、小澤 美和³

¹聖路加国際病院 看護部 AYAサバイバーシップセンター、

²聖路加国際病院 腫瘍内科医 AYAサバイバーシップセンター、

³聖路加国際病院 小児科医 AYAサバイバーシップセンター

MO2-3 全国小児がん経験者ネットワーク”シェイクハンズ！”の活動 – 10年を経験してー

○井本 圭祐^{1,2}、舩本 大輔^{1,3}

¹全国小児がん経験者ネットワーク シェイクハンズ！、²認定NPO法人にこスマ九州、

³公益財団法人がんの子どもを守る会

MO2-4 AYA世代サロンの新たな取り組み報告と今後の活動に関する考察

○松尾 由佳¹、福島 俊²、上田 圭希³、白石 恵子⁴、野口磨依子³

¹九州がんセンター がん相談支援センター、²九州がんセンター 整形外科、

³九州がんセンター 小児・思春期腫瘍科、⁴九州がんセンター サイコオンコロジー科

MO2-5 ～病を生きる力に～ AYA世代のがん患者さんと医学生が語り合う活動「Medipathy」の現在と展望

○高橋 千夏¹、名倉 慎吾²、後藤 光³、西岡龍一朗⁴、高野 利実⁵、多田 雄真⁶

¹日本大学 医学部医学科、²大阪大学 医学部医学科、³長崎大学 医学部医学科、⁴富山大学 医学部医学科、

⁵公益財団法人がん研究会 有明病院、⁶大阪国際がんセンター AYA世代サポートチーム

MO2-6 AYAweek2025 にて「サイバー空間でがん患者と家族を癒す・つなぐ」を開催して

○大須賀美恵子¹、多田 雄真²

¹大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 システムデザイン工学科、²大阪国際がんセンター 血液内科

座長：楠木 重範（遊育園こどもクリニック）

MO3-1 AYA世代がん患者を対象とした国際的QOL尺度開発の取り組み○松原 奈穂^{1,2}、石木 寛人¹、小島 勇貴³、斎藤亜由美³、小林 智美¹、柳井 優子⁴、大木 麻実⁵、宇田川涼子⁶、堀口 沙希⁷、稲村 直子⁷、里見絵理子^{1,8}¹国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、²順天堂大学大学院 呼吸器内科学講座、³国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科、⁴国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、⁵国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室、⁶国立がん研究センター中央病院 薬剤部、⁷国立がん研究センター中央病院 看護部、⁸順天堂大学大学院 緩和医療学研究室**MO3-2 思春期がん患者の看取り経験の少ない訪問看護ステーションが、患者を多面的に捉え、意向と真摯に向き合うために準備すべきこと**○仲尾 由美、伊藤亜由美
医療法人香徳会 かしのき訪問看護ステーション**MO3-3 「AYA世代のがんとくらしサポート」～閲覧数の傾向から～**○丸山智恵子¹、劉 明シン¹、山田裕里恵¹、岩満 優美²、土屋 雅子³、八巻知香子¹
¹国立がん研究センター がん対策研究所、²北里大学 医学系研究科、³武蔵野大学 看護学研究所**MO3-4 当院のAYA世代がん患者の妊孕性温存療法に関する意思決定支援の現状 ～AYA支援チームの取り組み～**○小川 弘美¹、宇佐美友紀子¹、谷山 智子²、曾根 英恵³、荒城菜々子³、大石 元⁴、緒方 佑莉⁴、井上 由夏⁴、黒瀬 大地⁴、森 由佳⁴、笹峯 梓⁴、清水千佳子^{2,5}
¹国立国際医療研究センター 看護部、²国立国際医療研究センター がん総合診療センター、³国立国際医療研究センター 精神科、⁴国立国際医療研究センター 産婦人科、⁵国立国際医療研究センター 乳腺・腫瘍科**MO3-5 AYA世代患者が患者会活動を通じて実践するがん政策と患者市民参画～ロールモデルと共に学ぶ私たちの今とこれから～**○植木 朋子、中野季里子、矢後 綾子、小濱 京子、河村 裕美
認定NPO法人 オレンジティ

座長：富岡 晶子（千葉大学大学院看護学研究院）

MO4-1 未成年の子どもをもつひとり親がん患者への支援○小田 夏実、近藤 美紀
国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院**MO4-2 AYA世代終末期患者の家族支援について～子の病状を受け入れられなかった母親に対するケア～**○細田智亜紀¹、天内 萌南¹、渡邊 英美¹、羽野 留美¹、中島 正博¹、金谷 美里¹、高橋 昭子²、相馬 有³、岩田 玲³、平賀 博明³
¹国立病院機構 北海道がんセンター 4階南病棟、²国立病院機構 北海道がんセンター 地域医療連携室、³国立病院機構 北海道がんセンター 骨軟部腫瘍科

MO4-3 意識障害のあるAYA世代脳腫瘍患者の多職種による意思決定支援の一例

○石毛奈津子¹、永井 琴子¹、古賀麻理沙¹、大野 誠²、柳井 優子³、諸井 夏子⁴、稲村 直子¹
¹国立がん研究センター中央病院 看護部、²脳脊髄腫瘍科、³精神腫瘍科、⁴がん相談支援センター

MO4-4 妊娠9週で急性リンパ性白血病を発症し多職種サポートを行った1例

○小林 真也、山口 将太、山本 雅美、大谷 惇、内原 正人、八木 秀男
奈良県総合医療センター 血液・腫瘍内科

MO4-5 AYA世代がんサバイバーにおける動画発信の意義：作業療法の新たな支援の形

○櫻井 卓郎¹、小林 英介²、稲本 賢弘^{3,4}、河崎 有咲⁵、西井 光⁵、岸上 紗和⁵、
尾崎 修平^{1,2}、福田 隆浩⁴、川井 章²
¹国立がん研究センター中央病院、リハビリテーション室、
²国立がん研究センター中央病院、骨軟部腫瘍・リハビリテーション科、
³藤田医科大学病院、血液内科、⁴国立がん研究センター中央病院、造血幹細胞移植科、
⁵国立がん研究センター中央病院、看護部

MO4-6 A世代における外見変化への対処とアピランスケアの実践 —16歳男性患者の事例を通じて—

藤間 勝子
国立がん研究センター中央病院 アピランス支援センター

ポスター会場② 404

ミニオーラル5 研究発表1

17:15 ~ 18:15

座長：安宅 大輝（東邦大学医療センター大森病院 看護部）

MO5-1 AYA世代支援チームが骨軟部悪性腫瘍患者に対して行う支援の検討

○近江 圭祐¹、田島 崇²、弘實 透²、森井 健司²
¹杏林大学医学部付属病院 看護部、²杏林大学 医学部 整形外科

MO5-2 AYA世代がん患者に対する包括的なピアサポート体制の構築 ～クラスター分析を用いたパーソナリティの把握～

○桜井なおみ^{1,2}、駒形千鶴子^{1,2}、白浜 若菜^{1,2}、佐治 重衡³、木村 礼子³、平井 啓⁴、金子 茉央⁵
¹一般社団法人CSRプロジェクト、²キャンサーソリューションズ株式会社、³福島県立医科大学 腫瘍内科学講座、
⁴大阪大学人間学研究科、⁵CoBeTech 株式会社

MO5-3 当院における精神腫瘍科を受診したAYA世代がん患者・家族の傾向 —初診患者データベースによる検討—

○副島 沙彩¹、村上 理菜¹、西井 知子¹、川藤 千里¹、岩田 有正¹、榎戸 正則¹、藤澤 大介²、
小川 朝生¹
¹国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科、²慶應義塾大学医学部精神神経科

MO5-4 思春期世代のきょうだい向け心理教育ブックレットの使用可能性の検討

早川真桜子
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科

MO5-5 就学前の子供をもつ女性がん患者が、治療をうけながら子育てした体験で発揮されたレジリエンス

○池谷 理江¹、坂本 理恵²

¹日野原記念 ピースハウス病院、²国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

ミニオーラル 6 研究発表 2

17:15 ~ 18:15

座長：稲村 直子 (国立がん研究センター中央病院 看護部)

MO6-1 専門・認定看護師が実践したAYA世代患者のニーズの捉え方

○原 実優¹、成瀬 久美¹、伊藤 麻子¹、西崎 晶子¹、大橋 麗子²

¹名古屋市立大学病院 看護部、²名古屋市立大学 看護学部

MO6-2 小児・AYA世代がんの治療中の高校生の学習と学習環境に関する調査研究

○村山 拓¹、黒澤 南²

¹東京学芸大学総合教育科学系特別支援科学講座、²泰日協会学校

MO6-3 高等教育を受けるAYA世代がん患者の学業に対する困りごとの調査～AYAスクリーニングシートデータを用いた解析～

○内田恵理子¹、杉澤亜紀子²、吉本 有希²、稲村 直子²、柳井 優子³、石木 寛人⁴

¹国立がん研究センター中央病院小児腫瘍科、²国立がん研究センター中央病院看護部、

³国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科、⁴国立がん研究センター中央病院緩和医療科

MO6-4 長期療養者の生活・就業実態とQOLに関する実態調査－支援プロセス最適化を目指した探索的研究－(第1報)

○坂本はと恵¹、西田 俊朗²、桜井なおみ³、坂東 英明¹、関根絵理花¹、飯田 洋子¹、池田 公史¹、
若林 将史¹、池野 敬¹、堀之内秀仁⁴、土井 俊彦¹

¹国立研究開発法人国立がん研究センター東病院、²JCHO大阪病院、³キャンサー・ソリューションズ株式会社、

⁴国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院

MO6-5 小児がん経験者の長期健康管理に総合診療医が関与する際の課題

○藁谷 朋子^{1,2}、菅家 智史³、アミール偉⁴、菊田 敦^{1,2}、佐野 秀樹^{1,2}

¹福島県立医科大学附属病院 小児腫瘍内科、²福島県立医科大学附属病院 小児・AYAがん長期支援センター、

³福島県立医科大学 医学部 総合内科・総合診療学講座、⁴福島県立医科大学 医学部 放射線健康管理学講座

MO6-6 小児がん経験者のアンケートより明らかになった長期フォローアップの課題

○永瀬 恭子¹、山本 光映¹、郡司美千代¹、長谷川大輔²、細谷 要介²、小澤 美和²、小林 京子³

¹聖路加国際病院 小児医療センター、²聖路加国際病院 小児科、³聖路加国際大学

座長：里見絵理子(国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)

MO7-1 AYA期発症がん経験者の終末期に関するニーズ — A Mixed Methods Systematic Review —○田崎 牧子¹、鷹田 佳典²、富岡 晶子¹、水流添秀行³、齊藤 太樹⁴、土屋 雅子⁵¹千葉大学大学院看護学研究院 先端実践看護学研究部門高度実践看護学講座、²日本赤十字看護大学さいたま看護学部、³東邦大学健康科学部看護学科、⁴東京歯科大学市川総合病院、⁵武蔵野大学看護学研究所**MO7-2 AYA世代がん患者が終末期に抱えるつらさ及び気がかりに関する後方視的研究**○西川 英里¹、石木 寛人²、松原 奈穂²、池上 貴子²、齋藤亜由美³、小島 勇貴³、堀口 沙希⁴、
稲村 直子⁴、小川 祐子¹、柳井 優子¹、宇田川涼子⁵、里見絵理子²¹国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、²国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、³国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科、⁴国立がん研究センター中央病院 看護部、⁵国立がん研究センター中央病院 薬剤部**MO7-3 AYA世代がん患者が抗がん治療開始前に抱えるつらさの程度と困りごとの関連：単施設前向き観察研究**○柳井 優子¹、西川 英里¹、石木 寛人²、齋藤亜由美³、小島 勇貴³、堀口 沙希⁴、大木 麻実⁵、
小川 祐子¹、稲村 直子⁴、杉澤亜紀子⁴、宇田川涼子⁶、里見絵理子²¹国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、²国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、³国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科、⁴国立がん研究センター中央病院 看護部、⁵国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室、⁶国立がん研究センター中央病院 薬剤部**MO7-4 根治困難ながんと診断された小児・AYA世代患者を対象とした在宅療養生活支援事業の実態調査**○多田 雄真^{1,2}、山田 遥子³、樋口 明子⁴、清水千佳子⁴¹大阪国際がんセンター 血液内科、²大阪国際がんセンター AYA世代サポートチーム、³埼玉県立がんセンター 乳腺腫瘍内科、⁴国立国際医療研究センター 乳腺・腫瘍内科**MO7-5 小児・AYA世代がん患者・経験者の抱える課題の認知度調査(東京都食育フェア2023)**○寺内恵美子¹、牧野 沙羅¹、今井 香穂¹、大橋 未聖¹、金榮 美彩¹、濱野 夏帆¹、堀江 香帆¹、
佐藤 彩^{2,3}、鈴木 礼子¹¹日本女子大学 家政学部 食物学科、²日本女子大学大学院 家政学研究科 食物・栄養学専攻、³東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科

座長：清水千佳子(国立国際医療研究センター)

MO8-1 若年乳癌患者が遺伝性乳癌卵巣癌診療を通して抱く心理社会的課題：システマティックレビュー○津幡 真理^{1,2}、新堀 哲也^{1,3}、青木 洋子^{1,3}、吉田 沙蘭²¹東北大学病院 遺伝子診療部、²東北大学大学院 教育学研究科、³東北大学大学院 医学系研究科 遺伝医療学分野

MO8-2 妊孕性温存療法を実施した乳癌患者の着床前遺伝学的検査に対する意識調査

○小西 晴久¹、庵前美智子¹、門上 大祐¹、藤岡 聡子²、井上 朋子³、中岡 義晴¹、福田 愛作²、森本 義晴³

¹IVF なんばクリニック、²IVF 大阪クリニック、³HORAC グランフロント大阪クリニック

MO8-3 がん治療を受ける女性の妊孕性温存治療に関する意思決定を支援する教材開発に向けた基礎調査～インタビュー調査の結果から～

○池田ゆきみ¹、青木 恭子²、坂口 葉夏³、吉田 靖代⁴、里見絵理子^{1,5}

¹国立がん研究センター中央病院 がん相談支援センター、²武蔵野大学 看護学部、³利島村社会福祉協議会、

⁴千葉大学大学院 看護学研究科 博士後期課程、⁵国立がん研究センター中央病院 緩和医療科

MO8-4 思春期女兒の妊孕性温存の意思決定支援に関するスコーピングレビュープロトコール

○小林 京子¹、山路野百合²

¹聖路加国際大学大学院 看護学研究科小児看護学、²昭和医科大学 臨床疫学研究所

MO8-5 AYA 世代の骨密度検査と骨粗鬆症治療の診療実態

○福島 俊¹、薛 宇孝¹、徳永 修¹、中山 秀樹²、野口磨依子²、上田 圭希²、徳永えり子³、古閑知奈美³、田尻和歌子³、島本 久美⁴、奥村 祐太⁵、崔 日承⁶

¹国立病院機構 九州がんセンター 整形外科、²国立病院機構 九州がんセンター 小児・思春期腫瘍科、

³国立病院機構 九州がんセンター 乳腺科、⁴国立病院機構 九州がんセンター 婦人科、

⁵国立病院機構 九州がんセンター 消化管・腫瘍内科、⁶国立病院機構 九州がんセンター 血液・細胞治療科

プログラム 2日目 5月25日(日)

第1会場

シンポジウム5

がんサバイバー晩期合併症フォローアップについて 多職種連携とそのマネジメント ～ AYA 患者の晩期心血管毒性～

9:00 ～ 10:15

座長：佐瀬 一洋（順天堂大学大学院医学研究科 臨床薬理学）
志賀 太郎（がん研究会有明病院 腫瘍循環器・循環器内科）
共催：日本腫瘍循環器学会

●基調講演

SY5-1 AYA 世代患者のサバイバーシップ～晩期心血管毒性を中心に～

小野麻紀子
がん研有明病院 総合腫瘍科・先端医療開発科

SY5-2 AYA 世代の腫瘍循環器的諸問題を成人先天性心疾患と重ねて考える

小板橋紀通
群馬県立心臓血管センター 循環器内科

●パネルディスカッション

パネリスト：天野 慎介
一般社団法人全国がん患者団体連合会 理事長／一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン
理事長

CAYA 世代がんサバイバー晩期合併症の長期フォローアップ ～多職種連携での看護の役割とは何か～

パネリスト：近藤 美紀
国立がん研究センター東病院 看護部

AYA 世代における晩期心血管毒性と薬剤師の役割

パネリスト：平出 誠
東京薬科大学 臨床評価学教室

AYA 世代の晩期心血管毒性に地域でどう向き合うか

パネリスト：西 明博
水海道さくら病院 総合診療科

パネリスト：小野麻紀子
がん研究会有明病院 総合腫瘍科・先端医療開発科

パネリスト：小板橋紀通
群馬県立心臓血管センター 循環器内科

座長：浦川 優作 (藤田医科大学医学部 先端ゲノム医療科)
新川 裕美 (がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部)

SY6-1 遺伝子の情報をがんの治療や予防に役立てる～遺伝性腫瘍診療の日米の現状と課題

田村智英子
FMC東京クリニック 医療情報・遺伝カウンセリング部

SY6-2 耳下腺の腫れに感謝

らりる RIE (緒方 里恵)
遺伝性腫瘍当事者

SY6-3 遺伝性腫瘍当事者の声を届ける ～「当事者からのメッセージ」冊子の作成～

幅野 愛理
公益財団法人 がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部

理事長企画ランチョンセミナー 2

Protocol for the development of a Core Outcome Set (COS) for Adolescents and Young Adults (AYAs) with cancer

12:00～13:00

座長：清水千佳子 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター)
東 尚弘 (指定国立大学法人東京大学大学院 医学系研究科)
共催：株式会社明治安田総合研究所

The development of a Core Outcome Set (COS) for Adolescents and Young Adults (AYAs) with cancer: The STRONG AYA project (Dr. S. Hanebaum and S. Janssen)
思春期・若年成人 (AYAs) がん患者を対象としたCore Outcome Set (COS) の開発：
STRONG AYAプロジェクト (Dr. S. Hanebaum and S. Janssen)

Simone Hanebaum
Netherlands Cancer Institute

Silvie Janssen
Netherlands Cancer Institute/Erasmus Medical Center/Dutch national AYA congress

理事長企画セッション

AYA世代がんの医療経済を考える ～高額療養費制度を題材に～

13:15～14:15

座長：清水千佳子 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター)
天野 慎介 (一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン理事長、一般社団法人全国がん患者団体連合会理事長)

○伊藤 ゆり¹、桜井なおみ²、坂本はと恵³

¹大阪医科大学 医学部 医療統計学研究室、²一般社団法人CSRプロジェクト 代表理事、

³国立がん研究センター東病院 がん相談支援センター

指定発言：河田 純一

東京大学医科学研究所公共政策研究分野／慢性骨髄性白血病患者・家族の会「いずみの会」

パネルディスカッション AYA研だから話すよ、「性」のこと

14:30 ~ 15:45

座長：杉本 公平 (獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター)
森 文子 (国立がん研究センター中央病院 看護部)

PD-1 基調講演兼パネリスト：渡邊 知映
昭和医科大学 保健医療学部

PD-2 パネリスト：小堀 善友
プライベートケアクリニック東京 東京院

PD-3 パネリスト：瀬戸口志保
医療法人社団 志心会 成城せとぐちクリニック

PD-4 パネリスト：樋口麻衣子
富山大学附属病院 看護部、富山AYA世代がん患者会 Colors

PD-5 パネリスト：柿本 聡
語り合いサロン安曇野

国際学会参加助成報告会

16:00 ~ 16:30

座長：富岡 晶子 (千葉大学大学院 看護学研究院)

6th Global AYA Cancer Congress 参加報告

盛田 大介
長野県立こども病院 血液腫瘍科

閉会の挨拶

16:30 ~

第2会場

国際連携委員会企画 アジアのAYA (LMICのAYA)

10:15 ~ 11:45

座長：桜井なおみ (一般社団法人CSRプロジェクト)
小澤 美和 (聖路加国際病院 AYAサバイバーシップセンター)

Challenges in the holistic management of cancer in adolescents in Singapore

Mei-Yoke Chan
KK Women's and Children's Hospital, Singapore

座長：永井 功造 (愛媛県立中央病院 小児科)

八巻知香子 (国立がん研究センター がん対策研究所 がん情報提供部)

Comprehensive Genomic Profiling in AYA Cancer

○小野麻紀子、林 直美

がん研有明病院 総合腫瘍科・先端医療開発科 がん研有明病院 ゲノム診療科

一般集団における遺伝性腫瘍症候群と着床前遺伝学的検査 (PGT-M) の認知～アンケート調査からの考察～

新川 裕美

がん研究会 有明病院 臨床遺伝医療部

がんを乗り越える運動の力 ～ AYA 世代向けエクササイズ啓発動画～

五木田茶舞

埼玉県立がんセンター 整形外科／希少がんサルコーマセンター

調査・研究委員会企画 AYA 研レジストレーション

14:30 ~ 15:30

座長：向井 幹夫 (大阪がん循環器病予防センター 循環器病検診部)

安藤 弥生 (国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 研究企画推進部)

AYA 世代がんレジストリの構築研究

松井 基浩

東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科

小児がんサバイバーに対する長期フォローアップ支援事業

向井 幹夫

大阪がん循環器病予防センター 循環器病検診部